

# 知行合一

学校教育目標

夢実現  
潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校だより 第4号

令和3年7月6日

文責 校長 沖田 龍藏

「己の欲せざる所は人に施すことなかれ」【論語】は、「(自分がしてほしいことは人にもしてあげる。)自分がしてほしくないことはしない。」このことを心がければ、いじめをなくすことにつながります。



## 郡市中体連大会完全燃焼！女子バドミントン、卓球、 空手道、水泳は県中体連大会へ！

(結果は裏面参照)

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により実施できなかった郡市中体連大会を選手は勿論、応援にきていただいた保護者の皆様の感染対策による協力により、無事に開催できましたことを感謝申し上げます。そして、選手たちが最後まで各会場で、勝利を信じ、「あきらめない、最後まであきらめない」の田浦中スピリッツを忘れずに、持てる力を発揮したことを嬉しく思います。県大会の出場権を得た選手の皆さんは、芦北・水俣の代表として、運営にあたる方や保護者、監督・コーチへの感謝の気持ちを持ち、思いっきりのよいパフォーマンスを見せてください。先月は、中体連大会のみならず、給食センター櫻田先生による食育講話(1日)、1年集団体験教室(10・11日)、学校評議員会(14日)、教育相談(21日～)、期末テスト(28日～)がありました。1年生は、あしきた青少年の家での体験を中心に、クラスの絆を深めることができました。学校評議員会では、評議員の皆さんに学校経営方針を説明し、授業参観を通して、生徒の様子を見ていただきました。後半の教育相談期間中は、「黙々タイム」を設けて、自分で期末テストに向けた計画を立てて、自学の時間を設定し、家庭学習につなげる取組を行いました。来週までには、テスト結果は本人に配付されると思われるので、ご家庭でも確認をされてください。



## 田浦中「生徒会人権宣言」から「学級人権宣言：行動項目」へ

6月は、県内小中高等学校が一斉に「心のきずなを深める」月間として、いじめや差別をなくす、いじめや差別を許さない学級・学校づくりに取り組みました。本校では、7月5日(月)に生徒会執行部の企画で各学年の「学級人権宣言」が披露されました。1年生は、「虹 一人一人の個性を尊重し合う、誰かが失敗しても、励まし合う 等」、2年生は、「2の1スピリッツ 自分の発言や行動には責任を持つ、本音を出し合えるクラスに 等」、3年生は、「希望を胸に夢実現 一人一人の進路実現を妨げない、チクチク言葉を使わせない 等」を代表が発表しました。人間の居場所を奪う言葉は暴力です。自分をいつも省みて人を傷つける言動をしていないかと自問することが大切です。各学年ともに、人権学習を終え、クラスの実態を踏まえ、しっかり話し合ったことが発表からうかがえました。今後は月ごとに振り返りを行い、自分たちの手でよりよい学級をつくり、「笑顔あふれる学校」をみんなで作っていきましょう。



『芦北町立田浦中学校』で検索を 田浦中HPで随時情報発信をしています。